



71億円の返済計画は？

答 毎年5億円返済する

胡子 雅信 議員

胡子 下水道事業および農業集落排水事業の借金71億8,698万円(21年度末見込み)の返済計画と下水道料金値上げはどうか。

市長 下水道事業の仕組みについて広報等で分かりやすく市民に説明を。

市長 見直し後の下水道事業計画で残事業費は約100億円。毎年、工事に伴い3億円から4億円の下水道事業債を借入れし、5億円程度を償還する。下水道使用料は、今後、維持管理費を賄えるよう改定を検討したい。

定住促進について

胡子 「交流と定住のま

ちづくりプロジェクト」は空き家確保が急務だがどうか。

胡子 子どもたちの視点や考え方をまちづくりに活かすことも大切であり【子ども議会】を開催してはどうか。

市長 移住相談が増えているが空き家バンク登録件数が少ない。自治会等に協力していただき、一緒に地域を歩き登録件数を増やしたい。

市長 保育事業については、保育園の0歳児(6ヵ月児)の受け入れ、延長保育、一時保育事業、園庭開放をしている。子育て支援センターで子育て相談の総合窓口を設けている。

乳幼児医療については補助対象を小学校3年生まで延長している。

教育長 教育長 子ども自身が「江田島市のまちづくり」について考えることで、市政への参加と理解を深める取組みは重要。議会の協力があれば、子どもの学習活動および体験活動の場として活用してみたい。

子ども議会について

平成19年度決算数値

	公共下水道(特別会計)	農業集落排水事業(特別会計)	公共下水道事業(能美地区)(企業会計)	3事業合計
一般会計繰入金	4億6,506万円	1億5,896万円	2億7,974万円	9億0,379万円
市債・下水道債	1億4,520万円	2,480万円	9,414万円	2億6,414万円
公債費	2億1,285万円	9,202万円	1億7,235万円	4億7,722万円
市債・企業債残高	37億1,688万円	11億1,153万円	24億2,108万円	72億4,949万円
人口普及率	31.5%	100.0%	87.6%	54.9%
水洗化率	60.0%	38.2%	61.1%	54.7%

*公共下水道事業(能美地区) 一般会計繰入金は収益的収支(補助金・負担金)と資本的収支(出資金・負担金)の合計。

通院にはフェリー運賃の適用を

答 今は難しい

林 久光 議員



林 市営船を利用し広島市内の病院に通院している市民は、フェリーの減便によりやむなく高速艇を利用し、高負担を強いられる。病院の認定によりフェリー運賃を適用しては。

市長 現況の交通船事業は燃料費の高騰などで収益が悪化し、19年度に続き20年度も市から補助を受けなければならぬ状況。

まずは航路を存続させることが最重要課題。現段階では交通船事業単体としては難しい。

林 高田棧橋利用客の送迎車が最近多くなっている。乗下船客が車道を歩くことが多く、時間帯によっては混雑し危険な状態。事故防止のため、歩行者が車道を通らないなどの安全策と送迎車停車場設置の改善策を。

市長 朝夕は棧橋のロータリーで乗船待機車両と送迎車が交錯する状況もあり、また乗船客が棧

市のシンボルは

沖 也寸志 議員

答 制定に向けて準備

沖 合併協議会において「市章・市旗・市民憲章・市木・市花については新市において定める」となっています。

「海生交流都市えたじま」をアピールし、交流人口を増大させるため3Fフルーツ・フラワー・フィッシュを活用したシンボルの策定が必要と思えますがいかがでしょうか。



本市の潜在的な魅力を確認したうえで、新年度予算計上の市勢要覧の作成に合わせシンボル制定の準備をします。

ヘリコプターの

救急搬送について

沖 緊急時の患者搬送は3台の救急車が担っており、年間約1,560回の出勤回数です。

現場によっては、一刻の猶予もなく予断を許さない状況が発生した場合、ヘリコプターでの搬送が有効です。

現在、自衛隊大原飛行場で離発着していますが、市内に数ヶ所必要と思いますが、市長のご所見を伺います。



▲ 江田島市市章 (平成16年11月1日制定)

市長 先日ドクターヘリで救急患者を搬送する事案がありました。

緊急時には、航空法の特例により災害現場に最も近い場所に着陸できまので、現在離発着場の設置は予定しております。

んが、増加する救急需要のなか時間短縮は救命率向上の大事な要素です。

今後、安全で安心なまちづくりを推進するにあたり、あらゆる手段や可能性を調査、検討してまいります。



▲ フェリーが着岸した高田棧橋

橋に移動する際、歩道や横断歩道以外の箇所を歩行している状況もある。中町棧橋の整備後の利用状況を見ながら、対策を県とともに検討する。

また、歩行者の移動ルート上の改善や安全確保については、横断防止策の設置や路面表示の変更等を実施する方向で、県と調整中であります。